

かわらばん 第2号

通信教育講座で初めて学習される方に：合格に向けて

学習計画表（通信教育講座初心者用学習モデルの例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
予定	4/1 開講	5/6 第1回課題 5/24 第2・3回課題	6/28 第4・5回課題	7/1 試験要領公示 予定 7/26 頃 受験申込開始 予定 7/26 第6・7回課題	8/9 頃 受験申込 8/23 全国模試 8/28~29 通関実務 特別答練		第55回 本試験 10/3(日) 予定
テキストの 学習分野	第1章 第1~13節	第1章第14節 ~第5章第2節	第5章第3 節~第6章	第7章			
主な内容	(関税法) 定義、保 税、輸出入 手続、関税 確定・納 付・徴収	(関税法) 付帯税、不服申立て、罰則 (特例法) (関税定率法) (関税暫定法) (外為法)	(外為法) (通関実務)	(通関業法)			
使用 副教材	第1回~第7回の課題の問題と解説、通関実務特別答練等での配付資料(都度) ① 2021年度版 通関士試験問題・解説集(4月配付)、 ② 関税評価ドリル、計算問題ドリル(5月配付) ③ ゼロからの申告書(5月配付) ④ まるわかりノート(5月配付)(初学者には終盤のまとめに最適)						
学習の 方針	第Ⅰ期 (インプット中心)		第Ⅱ期 (インプット中心)		第Ⅲ期 (アウトプット中心)		
	4月、5月にどれだけ必死にできるかが、合否への第1難関。 (多くの者はこの時期に切迫感がなく、結局後半に時間不足になり、後悔することになる。)		この時期は、難関の通関実務の学習に入る。通関実務は品目分類の記憶要素が多く、第Ⅰ期に無理してでも1~97類の代表品目の暗記、主な注の内容に当たっておくのが、一発合格の鍵。		これまでの学習で、合格に必要な知識の基本ができていますので、これから実戦問題を解くことに集中する。 8/22(日)全国模試		
学習の ポイント (テキストの 範囲)	予定の課題の出題範囲を徹底的に学習する。課題は必ず提出する。解答と解説は必ず復習し理解する。学習範囲の節末の確認テストは正解率90%を目標。		課題の出題範囲を徹底的に学習する。課題は必ず提出する。正解と解説は必ず復習し、理解する。学習範囲の節末の確認テストは正解率90%を目標。			—	
学習の ポイント (分類対策)	①類1~24のゴシック品名(通関実務テキスト P.67~68)類毎に2品目程度を暗記する。算数の九九に相当する。6月から開始ではきわめて非効率。※ ②P.144以降の1~24までの注(ゴシック)の関係品目の類番号を暗記する。「参照」とあるのは通常その類又は項に分類されると判断してよい。	同左 ①類 25~49 ②類 25~49の注	同左 ①類 50~81 ②類 50~81の注	同左 ①類 82~97 ②類 82~97の注	第1科目、第2科目については、『まるわかりノート』で一通り復習する。 第3科目は、模試、過去問、『ゼロからの申告書』、『ドリル』(関税評価、計算問題)で反復練習する。		
注意点	①以上は、初めて挑戦する者が合格するための一つのメニュー案である。過去に学習経験のある受講者も、気を緩めることなく努力しよう。過去の合格者の多くは、不合格であった年と同じくらい勉強の時間を充てている。 ②とはいえ、計画を作る際は、できると思う能力の7~8割に設定する。時間が余れば弱点部分に注いでほしいし、勉強以外のことに使うのも自由。すべきことが滞留して、挫折に向かうことの方が恐ろしい。						

※受験経験者も第3科目の重要知識である1~97の類を早くから覚えましょう。

通信教育講座 課題の学習分野及び提出締切日

	学習分野	学習予定 (テキスト)	入門知識 (*)	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
				提出〆5/6月	5/24月		6/28月		7/26月	
第1章	(関税法)									
第1節	用語	関税法等 4月1週	ガイドブック IV[1]~[2]7 p.46~75	●						
第2節	入出港				●					
第3節	保税地域	p.2~51		●						
第4節	輸出手続	4月2週		●	●					
第5節	輸出特例	p.52~82			●					
第6節	輸入手続	4月3週 p.83~153		●	●					
第7節	納税特例					●				
第8節	出入禁止					●				
第9節	認定通関					●				
第10節	郵便物					●				
第11節	適用法令	4月4週	[2]8~12			●				
第12節	確定方式	p.154~193	p.75~83			●				
第13節	納付徴収	4月5週				●				
		p.194~207								
第14節	附帯税	5月1週				●				
第15節	消滅時効					●				
第16節	不服申立	p.208~254	[2]13~14		●					
第17節	罰則		p.83~86		●					
第2章	(特例法)									
第1節	NACCS	5月2週 p.256~274	—		●					
第2節	コンテナ				●					
第3節	ATA				●					
第4節	駐留米軍				●					
第3章	(定率法)									
第1節	関税率	定率法等 5月2週	[3]1 p.86~89			●				
第2節	解釈通則		p.2~23	[3]2 p.89~93			●			
第3節	課税価格	5月3週	[3]3 p.93~98			●				
第4節	特殊関税	5月4週	[3]4 p.98~99				●			
第5節	減免制度	p.74~111					●			
第4章	(暫定法)		[3]5~[4]1 p.99~102							
第1節	減免制度	5月4週					●			
第2節	特惠制度		p.114~133	[4]2 p.102~106				●		
第5章	(外為法)									
第1節	外為法	5月5週	[5]				●			
第2節	輸出令	p.136~149	p.106~112				●			
第3節	輸入令	6月1週					●			
		p.150~161								
第6章	(通関実務)									
第1節	税額計算	6月1週	—					●	●	
		通関実務 p.2~30								
第2節	計算価格	6月2週					●	●		
第3節	品目分類	p.31~74					●	●		
第4節	輸出申告	6月3週					●	●		
		p.75~100								
第5節	輸入申告	6月4週					●	●		
		p.101~131								
第6節	EPA	6月5週						●		
		p.132~142								
第7章	(通関業法)									
第1節	定義	7月1週	[6]						●	
第2節	通関業の許可		p.2~33	p.112~125						●

第3節	通関業者の義務等	7月2週 p.34~54								●
第4節	通関士									●
第5節	通関業者の責任									●
第6節	雑則									●
第7節	罰則									●

(*)入門者には、テキストに入る前に予めガイドブック「IV学習前の入門知識」を読み返しておくことをお勧めします。